

科目名		授業形態	担当教員名	
生理光学Ⅲ演習		講義・演習	荒木 渚・山寄 統子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
乱視表を用いた乱視矯正（雲霧法）の原理と検査方法を理解することを目的とします。 眼鏡に関する基本的知識を学び、レンズメーターでの眼鏡度数が測定できることを目的とします。				
授業の到達目標				
①雲霧法による乱視矯正を理解し実践できる。 ②眼鏡のレンズ材質やレンズデザインの特徴を説明できる。 ③レンズメーターで各種眼鏡の度数を測定することができる。				
授業計画				
回	内容			
1	雲霧法 他覚的屈折検査結果がない時【講義】		授業開始時期：視能矯正学演習Ⅱ 第9回終了後	
2	雲霧法 他覚的屈折検査結果がない時 ①【演習】			
3	雲霧法 他覚的屈折検査結果がない時 ②【演習】			
4	雲霧法 他覚的屈折検査結果がある時【講義】			
5	雲霧法 他覚的屈折検査結果がある時 ①【演習】			
6	雲霧法 他覚的屈折検査結果がある時 ②【演習】			
7	雲霧法 他覚的屈折検査結果がある時【講義】			
8	眼鏡 ①【講義】			
9	眼鏡 ②【講義】			
10	レンズメーター ①【演習】			
11	レンズメーター ②【演習】			
12	レンズメーター ③【演習】			
13	雲霧法／レンズメーター ①【演習】			
14	雲霧法／レンズメーター ②【演習】			
15	雲霧法／レンズメーター ③【演習】			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	80%	理解度を評価します。		
レポート・課題	10%			
小テスト		授業に取り組む姿勢、積極性を評価します。		
平常点	10%			
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
視能学 第3版		小林義治 他編	文光堂	
目でみる 視力・屈折検査の進めかた 第2版増補		所敬・山下牧子 著	金原出版	
視能学エキスパート 光学・眼鏡 第2版		松本富美子 他編	医学書院	
眼科検査ガイド 第3版		根木昭 監修	文光堂	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
なし				
自由記載				
備考				